

▼競合サイト

<https://lunk.jp/column/video-edit-efficiency/>

<https://www.indigo-studio.jp/2022/03/02/video-editing-kotsu/>

<https://video-b.com/blog/ve/cr-03-0006/>

対策KW「動画編集 効率化」

ターゲット:これから動画編集を始めようと検討している層

内容:動画編集をこれから始めていきたいと思っている人に向けて動画編集におけるセンスについて解説

title:【プロが教える】動画編集を効率化するテクニック7選！時短 & クオリティUP術もご紹介 | 動画編集オンラインスクールなら「AIM Creators College」

H1:【プロが教える】動画編集を効率化するテクニック7選！時短 & クオリティUP術もご紹介

記事監修者:以下も参考に鴻池さんの紹介コンテンツを作成して下さい。顔写真/名前/役職/経歴や実績の紹介文(200~300文字)

└参考: <https://www.plan-b.co.jp/blog/seo/57421/>



WRITER

松本 健吾

マーケティング部 マーケティングユニット

京都大学卒。2020年に株式会社PLAN-Bに入社。現在はSEOツール「[SEARCH WRITE](#)」やCVR改善ツール「[SEARCH WRITE LEAD](#)」などのマーケティング責任者。オウンドメディア「[PINTO!](#)」の編集長も兼任しており、自社ツール活用やSEOの深い知見を活かし、獲得リード数を3倍以上に伸ばした実績を持つ。

導入文:

動画編集は、今最もニーズが高く、注目されている副業といって差し支えないでしょう。

しかし、実際に取り組んでみると、複雑さと時間のかかり具合に圧倒されてしまう人も多いのが実情です。

特に初心者にとっては、何から手をつければ良いのか、どのツールを使うべきなのか、その選択自体が一つの壁となり得ます。

さらに、クライアントの要望に答えるような動画を期日内に納品するためには、効率的な編集作業をしなければ間に合わせるのも一苦労です。

その結果、多くの方が時間を失い、ストレスを感じるようになります。

そこで本記事では、このような課題を感じている方々に、プロの編集者が使っている効率化テクニックを紹介していきましょう。

今回紹介するテクニックを学ぶことで、クオリティを保ったまま、作業時間を削減することができます。

本記事で紹介する7つのテクニックは、動画編集を始めたばかりの方にも理解しやすい内容となっています。

これを読むことで、あなたの動画編集作業が今までよりもずっとスムーズに、そして楽しくなるはずです。

時短テクニックを習得して、効率的な動画編集ライフを送りましょう。

目次:H2,H3タグを目次としてジャンプリンクを設置下さい。※色やフォント等の体裁に指定はございません。

└参考: <https://www.rentio.jp/matome/2023/08/movie-edit-windows/>

H2: 動画編集を効率化する基本は作業の順番にあり



動画編集が大変であることは間違いありません。

特に、動画編集の作業に慣れていない初心者の方であれば、1本の動画を作成するにもかなりの時間がかかるでしょう。

動画編集の効率化を図るためのテクニックを習得することも大切なのですが、その前に1つ確認して欲しいことがあります。

それは、動画編集の順番。

動画編集には効率的に作業をするための『順番』があります。

その順番から外れて作業してしまうと、余計な工程が増えたり、やり直しなどが発生してしまい、より時間がかかってしまう可能性があるのです。

まずはあなたが適切な順番で編集作業を行えているか、その手順を確認してみましょう。

H3: 効率的な動画編集の作業順を解説

動画編集を始める際、効率的な作業順序を理解しているかどうかで、動画編集の作業時間が大きく変わります。

まずは、動画編集初心者の方にもわかりやすいように、効率的な作業の流れを紹介していきます。

最初にやることは「構成」です。

動画の目的とメッセージを明確にし、どのシーンをどの順番で配置するか、大枠でどの部分を削除してどう繋げるか、そしてどんな雰囲気で作成するか、ざっくりとでも良いので、動画の設計図を計画しておきましょう。

ある程度の構成を考えたら次に「カット」の作業に移ります。撮影した映像の中から使う部分を選び出し、不要な部分をカットしていきます。

カットの間によって動画のテンポ感が変わります。

視聴者層やチャンネルの色に合わせたカットを行ってください。

カットが終わったら、「テロップ挿入」を行います。

視聴者に情報を提供するためのテキストを適切なタイミング・適切な表示時間で挿入してください。

テロップアニメーションなどを付けて、動画にインパクトを与えましょう。

次に、「エフェクトやSE(効果音)」を加えて動画に動きを付け、視聴者を飽きさせないように工夫をしましょう。

つづいて行う「BGMの挿入」は、動画の雰囲気を大きく左右するため、シーンに合った音楽を選んでください。

それができたら「色調補正」で映像の見栄えを整え、色のバランスを取ります。

最後に、「全体の最終調整」を行い、音量のバランスを整えたり、細部の修正を加えましょう。

もしあなたがやっている編集作業が、上記のような順番でできていなかったとしたら、あなたの編集に時間的なムダが発生しているかもしれません。上記の順番で作業を進め、スムーズかつ効率的に動画編集にとりくみましょう。

H2: 動画編集を効率化して時短するためのテクニック



動画編集の作業手順は効率的な順番で実施したうえで、それでもなお時間がかかっているのなら、時短テクニックを試してみましょう。

多くの動画編集者が編集に多大な時間を費やしてしまい、その結果、消耗してしまいます。ですが、ちょっとテクニックを採用するだけで、動画編集作業を大幅にスピードアップし、それでいてクオリティを維持することが可能になるのです。

この章では、動画編集を効率化して時短を実現するための基本的なテクニックを紹介していきます。これから解説する方法を通じて、あなたも編集作業の時間を削減し、より多くの案件を受注することで、どんどん売上を伸ばしていきましょう。

動画編集効率化のテクニックについて具体的に掘り下げていきましょう。

H3: ソフトの使い方を把握する

動画編集を始める際、最も基本的なステップは使用する編集ソフトウェアの機能と操作方法をしっかりと理解することです。この理解があるだけで、編集作業のスピードと効率が格段に向上します。

動画編集ソフトの操作は初心者にとって、複雑に思える機能も多いものです。細かい操作を覚えるのも大変なので、面倒に感じてしまう気持ちもわかります。

ですが、ソフトの操作がうろ覚えな状態で作業しながら、都度不明点を検索していると、とても非効率です。基本的な使い方からしっかりと学んで、効率よく動画を制作できるようになりましょう。

勉強したい動画編集ソフトですが、特に理由がなければ、「Adobe Premiere Pro」をおすすめします。

「Adobe Premiere Pro」は、今動画編集業界で最も広く使われているソフトで、その性能の高さと幅広い機能が魅力です。

「Adobe Premiere Pro」は、高性能で処理速度が速いため、大きなファイルや複雑な編集作業もスムーズに行うことができます。また、ビデオカットからエフェクトの追加、カラーグレーディング、サウンドミキシングに至るまで、ほぼすべての編集作業をこの一つのソフトでこなすことが可能です。

何よりも、動画編集案件募集の場では、「Adobe Premiere Pro」を使えることが最低条件としているものも多く、このソフトが使えなければそもそも動画編集案件を獲得することすらできないというケースがほとんどです。

初心者がAdobe Premiere Proを使い始める際は、まずは基本的なインターフェースの理解から始め、シンプルなカット編集などをやってみましょう。その後、徐々にその他の機能に手を広げていくことで、より専門的な編集技術も身につけることができますようになります。

効率的な編集の技術を習得するためには、使い慣れたツールの全機能を最大限に活用することが重要です。

[【2024年版】1本で丸わかり！ゼロから始めるYouTube動画編集のやり方を徹底解説！【Premiere Pro】](#)

H3: 複数の作業を平行してやらない

動画編集において時間を効率良く使うための重要なのが、「複数の作業を平行して行わない」ことです。

動画編集初心者の方に多いのが、一度に多くのタスクをこなそうとすること。
しかし、これがかえって作業効率を下げる原因になることも多々あります。

動画編集は注意と集中を要する作業であるため、タスクを一つずつ順番にこなすことが重要です。

例えば、カット編集を行いながら音声調整やテキスト挿入を同時に進めようとする、集中力が分散され、ミスが生じやすくなります。

そして、このようなミスを修正する時間が余計にかかってしまうため、結果的に作業時間が長くなってしまいます。

そのため、動画編集の効率を上げるには、一つの作業に集中し、完了させてから次の作業に移ることが効果的です。

こうしたアプローチを取ることで、各作業に必要な集中を保ち、作業の質を高めることができます。
さらに、一つ一つのタスクに集中することで、作業の進行具合をより正確に把握することができるので、全体のスケジュール管理もしやすくなります。

動画編集をスムーズに進めるためには、焦らず、一つの作業にしっかりと集中することが鍵です。

このテクニックは、単純ながら効果的で、実践すれば時間を節約し、より高品質な動画を作ることが可能になるでしょう。

H3: ショートカットキーを活用する

動画編集の効率を大幅に向上させる方法の一つは、ショートカットキーの活用です。

「Adobe Premiere Pro」を含む多くの編集ソフトには、様々な機能を素早く呼び出すためのショートカットキーが設定されています。

例えば、カット、コピー、ペーストや、特定のツールへの切り替えなど、頻繁に使用する操作は、ショートキーを活用して、キーボードのみで素早くこなうようにしましょう。

初心者の方は、最初に基本的なショートカットキーを覚えることから始めると良いでしょう。

例えば、カットするためのキー、選択ツールを呼び出すキーなど、日常的に使う機能のショートカットから順番に覚えていきます。

また、デフォルトで登録されているショートカットキーには、配置上使いにくくなっていることもあります。
そうした場合は、ショートカットキーを自分なりにカスタムして、使いやすくしてしまいましょう。おすすめは、よく使うショートは左手だけで使えるように設定することです。

これにより、マウスを使ってメニューから選ぶ手間が省け、動画編集作業のスピードが上がります。

この簡単な変更だけで、世界が変わります。

ショートカットキーを使いこなして、スムーズでストレスの少ない編集作業をしていきましょう。

 **【保存版】Premiere Proで使える超時短テクニック7選！【動画編集/カット/テロップ】**

H3: プリセットを保存する

動画編集作業を効率化し、時間を節約するためには、よく使用する設定やエフェクトをプリセットとして保存することが非常に有効です。

プリセットを利用することで、繰り返し同じ設定を手動で適用する手間が省け、作業の一貫性も保つことができます。

これは特に音声レベル、画角変更、テキストアニメーションなど、再利用する可能性の高い要素に対して役立ちます。

また、チャンネルごとによく使う特定の演出などもあるので、そうした演出は必ずプリセット登録し、すぐに呼び出せるようにしておきましょう。

プリセットの利用は初心者にも簡単で、多くの動画編集ソフトウェアでサポートされています。
もちろん「Adobe Premiere Pro」でも、プリセットを作成し、保存し、必要に応じてロードすることが可能です。

プリセットを活用することで、編集作業のスピードアップだけでなく、複数の動画間でのスタイルの一貫性も保つことができます。

効率的な動画編集を目指すなら、繰り返し使用する各種設定をプリセットとして保存し、それを活用する習慣を身につけましょう。
そうすれば、効率的に時短し、空いた時間でさらなる案件の受注や、プライベートの充実など、別のことに多く使うことが可能になります。

H3: 自動化できるところはする

動画編集の効率を向上させるためには、可能な限り作業を自動化することが重要です。
自動化は、繰り返し行われるタスクや時間のかかる作業を簡略化し、動画編集作業を楽に、効率化できるように手伝ってくれます。

初心者の方にとっても、自動化機能を活用することは、編集作業の速度と品質を両立させる方法として非常に有効です。

多くの動画編集ソフトウェアでは、例えばカラーグレーディングや音声のノイズ除去など、特定の作業を自動で行う機能を提供しています。

これらの自動化ツールを使用することで、手動で微調整を加える時間が大幅に削減され、全体の編集時間が短縮されます。

また、動画内の不要な部分を自動で検出してカットする機能や、テロップを自動で適用するオプションなどを使えば、かなりの時間が節約できること間違いありません。

初心者が自動化を最大限に活用するためには、まずは自分が使用している編集ソフトウェアの自動化機能を理解し、どのような場面でそれらを適用できるかを学ぶことが重要です。

Adobe Premiere Proにも、テロップ自動挿入や自動カットなどの機能が備わっています。

自動化を活用することで、動画編集のプロセスがより迅速かつ効率的になり、より多くの時間をクリエイティブな判断や質の向上に割り当てることができます。

自動化を活用して、初心者でもプロ並みの動画を効率よく作成していきましょう。

▶【爆速】カット編集で効率良く動画編集する方法【Premiere Pro】【副業】【フリーランス】

▶【2024年最新】テロップ入れでもう悩まない！爆速で作成する方法を教えます！

H3: 素材の管理をしっかりする

動画編集を効率化するためには、素材の管理が非常に重要です。

動画編集に使う素材が適切に管理されていないと、作業の遅延を招く原因となり、時間と労力を浪費することにつながります。効率的な素材管理を行うことで、必要なファイルをすぐに見つけ出し、編集プロセスをスムーズに進めることができます。

まず、素材を一箇所に集め、カテゴリやプロジェクトごとにフォルダを分けて整理しましょう。

例えば、ビデオクリップ、オーディオファイル、画像、テキストドキュメントなど、タイプ別に分類すると、必要な素材をどこを探せばいいかが明確になります。

また、ファイル名を明確にして、内容が一目で分かるようにすることも大切です。

これにより、特定のシーンやエフェクトに合った素材を迅速に見つけ出すことが可能になります。

さらに、素材のプレビューを利用して、編集前に内容を確認することができます。

これは時間の節約にもつながり、編集のミスを減らすことにも効果的です。

素材の検索に時間がかかっているひとは、こうした簡単な管理技術を実践することから始めると良いでしょう。

素材を適切に管理することで、動画編集作業がぐっと楽になり、よりクリエイティブな作業に集中できるようになります。

正しく素材を整理することで、編集の効率が向上し、時間を節約することができるのです。

H3: 作業内容に合ったデバイスを用意する

動画編集の効率化を図るためには、適切なデバイスの選択が欠かせません。

編集作業に最適なデバイスを用意することで、作業全体がスムーズに進行し、時間の節約につながります。

動画編集の作業内容に合わせたデバイス適切なデバイスの選び方をご紹介します。

まず、動画編集にはある一定以上の性能のパソコンが必要です。

パソコンの性能が低ければ処理速度が足りず、一つ一つの作業にかなりの時間がかかり、大きなストレスになります。

高速なCPUと十分なメモリを搭載したパソコンを用意しましょう。

そうすれば、重たいファイルを扱ってもパフォーマンスが低下せず、効率的に作業を進めることができます。

また、大量のデータを保存するためには、大容量のストレージも必要になります。

こうした条件に耐える、動画編集に適したパソコンを用意しましょう。

具体的なパソコンの選び方に関しては、下記記事でも解説していますので参考にしてください。

[【2024年】動画編集に必要なパソコンスペックを解説！おすすめソフトもご紹介](#)

次に、大きな画面を持つディスプレイも動画編集効率化には役立ちます。

ディスプレイを用いてデュアルモニターにすれば、複数のウィンドウやパネルを同時に開いて作業する際に役立ちます。

これにより、都度画面を切り替える時間を省くことができ、効率的に作業を進めることが可能です。

大画面や高解像度のディスプレイを選ぶと、細かいディテールを見落とすことなく編集することができるため、最終的な動画の品質向上にも繋がります。

[動画編集用モニターおすすめ19選！初心者向けに選び方のポイントをわかりやすく紹介！](#)

最後に、編集作業をより快適に行うためには、専用のキーボードやマウスも検討する価値があります。

ノートパソコンには備え付けのキーボードやマウスもありますが、やはり小さくて使いにくく、作業を効率的に行うには不向きです。

作業の速度を上げるだけでなく、長時間の編集作業でも疲れにくい設計になっています。

[【2024年最新】プロおすすめの動画編集用マウス5選！編集作業を劇的に効率アップするマウスを選び方から解説！](#)

作業内容に合ったデバイスを選ぶことは、動画編集の効率とクオリティを大幅に向上させることができるため、投資する価値は非常に高いです。

H2: 動画編集のクオリティを上げるためのテクニック



ここまで動画編集の効率や作業スピードについて焦点を当てて解説していましたが、大事なのはスピードだけではありません。どんなにスピードが早くても、クオリティが低ければ意味がないのです。

動画編集を始めたての初心者さんからプロの方まで、どんな編集者も効率良く・高クオリティな作業を進めたいと考えています。そこで、この章では、動画編集のクオリティを向上させるための基本的なテクニックを紹介していきましょう。

このテクニックを身につけることで、作業時間を短縮しつつ、完成度の高い動画を制作できるようになります。素早く・クオリティの高い動画を作成し、クライアントに喜んでもらいましょう。

H3: クオリティの高い素材を使用する

動画編集において、最終的なクオリティを大きく左右するのが使用する素材の質です。良い素材を使うことは、プロジェクトの見栄えを良くし、視聴者の注目を集めるために不可欠と言えるでしょう。

特に、鮮明で高解像度のビデオクリップや、クリアな音質のオーディオファイルはそれだけで動画に厚みや高級感などさまざまな高価を与えてくれます。これらの高品質な素材は、視覚的にも聴覚的にも魅力的なコンテンツを作る基盤となります。

初心者の方は、無料または有料の信頼できる素材提供サービスを利用して、素材集めにもこだわってみると良いでしょう。高いクオリティの素材を使うことで、編集作業自体もスムーズに進み、よりプロフェッショナルな動画を制作することができます。

H3: エフェクトの特徴を理解する

エフェクトの効果的な使用も動画編集でクオリティを上げるための大切なポイントの一つです。エフェクトとは、動画に特別な視覚的または音響的效果を加える機能のことで、これを使いこなすことで動画が一層引き立ちます。

しかし、使い方を誤ると逆効果になることも。基本的なエフェクトには、トランジション(切り替え効果)、カラーグレーディング(色調整)、テキストオーバーレイ(文字を重ねる)などがあります。

こうしたエフェクトを適切に使うことで、視聴者の注意を引きつけ、伝えたいメッセージを強調することが可能です。初心者の方は、まず各エフェクトがどのような目的で使われるのかを理解し、適切な場面で使用することから始めましょう。

プロのような動画を目指す第一歩は、エフェクトの特徴を知り、自分の作品に合う方法で活用することです。

H3:テロップを工夫する

テロップを工夫することで、動画の視聴者さんに内容の理解をより深めることができます。

テロップは、動画のポイントを明確にし、視聴者が内容を追いややすくする効果があります。
適切なフォントやサイズの選択、読みやすい色の使用することで、テロップで動画の雰囲気伝えることも可能です。。

また、テロップの表示タイミングも大切で、情報が必要な瞬間に適切な長さで表示させることが視聴者の理解をより深めてくれます。
さらに、動画のスタイルに合わせたアニメーションを加えることで、テロップが自然に映像に溶け込み、動画全体のクオリティを向上させることができます。

初心者の方は、シンプルながらも効果的なテロップの使用から始めてみてください。それだけで動画の印象が大きく変わるはずです。

H3:BGMを工夫する

動画制作において、BGMの選定は視聴者の感情に大きく影響を与え、動画の全体的な雰囲気を形成する重要な要素です。

適切なBGMを選ぶことで、動画のテーマやメッセージが強調され、視聴者の没入感を高めることができます。
動画編集の際には、動画の内容にマッチした音楽を選び、音量は台詞や主要な音が際立つように調整することをお勧めします。

また、著作権に配慮し、使用許可を得た音楽を使用することが必須です。

無料または有料の音楽ライブラリから、様々なジャンルやムードの曲を探ることができます。
BGMは動画の質を格段に向上させるため、選曲には特に注意を払いましょう。

[【2024年最新版】動画編集で安全・合法的にダウンロードできる音源サイト10選！](#)

H3:シンプルな編集を心がける

動画編集でクオリティを高めるには、シンプルな編集を心がけることが重要です。

複雑なエフェクトや過度なトランジションは、視聴者を混乱させることがあります。
伝えたいメッセージを絞り、そのメッセージを伝えるのに必要な箇所だけにのみ設置し、視聴者をストーリーに集中させてあげましょう。

編集初心者の方は、基本的なカットやフェードを使って、自然な流れを作ることから始めましょう。
また、各シーンの長さも考慮し、情報が多すぎず、かつ重要な内容がしっかり伝わるバランスを見つけることが大切です。

シンプルな編集は、視聴者にとって理解しやすく、メッセージを効果的に伝えるための鍵となります。

H2:短期間で効率的に学びたいなら、超実践型動画編集スクール『AIM Creators College』がおすすめ

別途作成のものを設置予定

H2:先輩OB / 卒業生の実績

別途作成のものを設置予定

まとめ

動画編集は、ただ時間をかけるだけではなく、賢くアプローチすることが重要です。
本記事では、動画編集を効率化するための基本から、具体的な時短テクニック、さらにクオリティを上げる方法まで、さまざまな重要ポイントをご紹介します。

まずは基本として、作業の順番を効率かせましょう。

そのうえで適切なプロジェクト管理と、さまざまなテクニックを使用することで、効率的かつスピーディーな編集作業ができるようになります。
そして、素材の質の選定、エフェクトの適切な使用、そしてテロップの工夫といった具体的なテクニックが、時短と同時に動画のクオリティ向上につながります。
また、BGMの選定の工夫や、シンプルな編集の心がけも、プロフェッショナルな結果を出すためには欠かせません。

本記事でご紹介したテクニックを活用すれば、初心者でも効率よく、高品質な動画制作が可能です。
さあ、今すぐこれらのテクニックを実践して、あなたの動画編集スキルを次のレベルへと引き上げましょう。

編集作業がスムーズになり、より創造的な時間を増やすことができるはずです。